

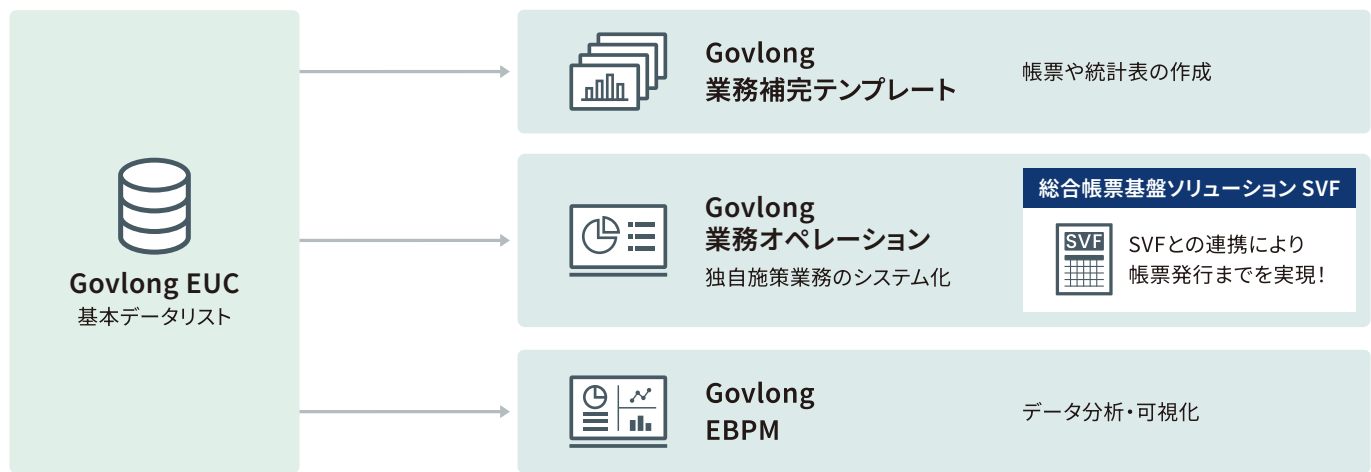


Govlong EUC基盤サービス

データを最大限活用し、自治体業務の効率化・高度化を実現



データの標準化・共通化のメリットを活かし、基幹システムに実装されない帳票や統計表の作成、独自施策業務のシステム化が可能です



EUC基盤サービスの特徴

特徴 01 標準仕様書(基本データリスト)に準拠したEUC機能

- 自治体システム標準化における共通機能の標準仕様書に準拠したEUC機能をご提供します
- 基本データリストに準拠したEUC用データベース定義体を実装し、仕様の改版にも対応します
- 自治体職員で抽出条件を作成し、自由にデータ出力が可能になります

特徴 02 業務補完テンプレートのご提供

- 標準化後の業務運用に支障がないよう、必要の一覧表やチェックリスト、実装されない機能を補完するEUC処理のひな形(集計定義体)をご提供します

特徴 03 独自施策業務/少量個別事務への対応

- 標準化で基幹システムに実装されない独自施策業務も、EUC用データベースとのデータ連携や入力・帳票出力画面を作成することでシステム化が行えます

特徴 04 EBPMへの対応※

- 政策立案や課題分析を目的としたデータの可視化をご支援します。グラフや地図など多彩な表現が可能です

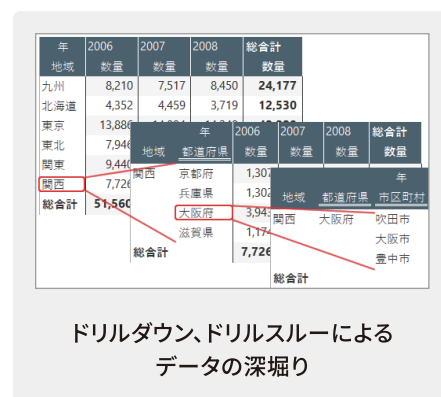
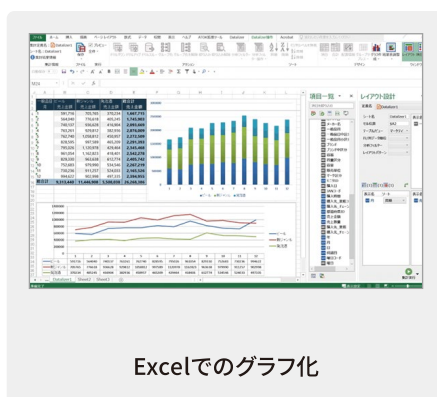
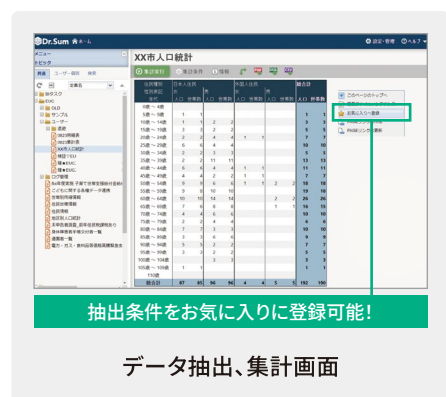
※EBPM(エビデンス・ベースト・ポリシー・メイキング。証拠に基づく政策立案)

自治体システム標準化に伴い、基幹システムに実装されない一覧表や統計表の補完が可能です。

統計表の集計結果に対し、ドリルダウン、ドリルスルー機能を利用して集計対象となったデータの深堀りや、明細表のソート機能により、画面上でデータを多角的に確認でき、Excelを使ったグラフ化なども可能です。

POINT

- ✓ 多重処理に特化したデータベースエンジンによる高速集計
- ✓ よく利用する集計条件のお気に入り登録
- ✓ 総合帳票基盤ソリューション SVFとの連携による個別様式の帳票作成



標準仕様書の対象外となる独自施策業務やExcel、Access等で管理している少量個別事務について、データ連携、入力画面、帳票出力までGUIによる開発が可能で、複雑なプログラミングは不要です。EUC用のデータベースから基本データリストの情報を連携することで、データを最大限活用できます。

